

# IBM® Lotus Notes 用の ADOBE® CONNECT™ 8 Add-in の使用

© 2010 Adobe Systems Incorporated and its licensors. All rights reserved.

IBM® Lotus Notes 用の Adobe® Connect™ 8 Add-in の使用

This user guide is protected under copyright law, furnished for informational use only, is subject to change without notice, and should not be construed as a commitment by Adobe Systems Incorporated. Adobe Systems Incorporated assumes no responsibility or liability for any errors or inaccuracies that may appear in the informational content contained in this guide.

This user guide is licensed for use under the terms Creative Commons Attribution Non-Commercial 3.0 License. This License allows users to copy, distribute, and transmit the user guide for noncommercial purposes only so long as (1) proper attribution to Adobe is given as the owner of the user guide; and (2) any reuse or distribution of the user guide contains a notice that use of the user guide is governed by these terms. The best way to provide notice is to include the following link. To view a copy of this license, visit <http://creativecommons.org/licenses/by-nc-sa/3.0/>

Adobe, the Adobe logo, and Adobe Connect are either registered trademarks or trademarks of Adobe Systems Incorporated in the United States and/or other countries. IBM is a trademark of International Business Machines Corporation in the United States, other countries, or both. All other trademarks are the property of their respective owners.

Updated Information/Additional Third Party Code Information available at [www.adobe.com/go/thirdparty/](http://www.adobe.com/go/thirdparty/)

Portions include software under the following terms:

This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.

Flash 9 video compression and decompression is powered by On2 TrueMotion video technology. © 1992-2005 On2 Technologies, Inc.

Sorenson Spark(tm) video compression and decompression technology licensed from Sorenson Media, Inc.

MPEG Layer-3 audio coding technology licensed from Fraunhofer IIS and Thomson.

RealDuplex™ Acoustic Echo Cancellation is Copyright © 1995-2004 SPIRIT.

This product contains either BSAFE and/or TIPEM software by RSA Security, Inc.

This product includes software developed by the Apache Software Foundation ([www.apache.org/](http://www.apache.org/)).

Portions © 1995-2005 Jean-loup Gailly and Mark Adler. This software is provided 'as-is', without any express or implied warranty. In no event will the authors be held liable for any damages arising from the use of this software. Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the following restrictions: 1. The origin of this software must not be misrepresented; you must not claim that you wrote the original software. If you use this software in a product, an acknowledgment in the product documentation would be appreciated but is not required. 2. Altered source versions must be plainly marked as such, and must not be misrepresented as being the original software. 3. This notice may not be removed or altered from any source distribution. Jean-loup Gailly ([jloup@gzip.org](mailto:jloup@gzip.org)) Mark Adler ([madler@alumni.caltech.edu](mailto:madler@alumni.caltech.edu))

Adobe Systems Incorporated, 345 Park Avenue, San Jose, California 95110, USA.

Notice to U.S. Government End Users: The Software and Documentation are "Commercial Items," as that term is defined at 48 C.F.R. §2.101, consisting of "Commercial Computer Software" and "Commercial Computer Software Documentation," as such terms are used in 48 C.F.R. §12.212 or 48 C.F.R. §227.7202, as applicable. Consistent with 48 C.F.R. §12.212 or 48 C.F.R. §§227.7202-1 through 227.7202-4, as applicable, the Commercial Computer Software and Commercial Computer Software Documentation are being licensed to U.S. Government end users (a) only as Commercial Items and (b) with only those rights as are granted to all other end users pursuant to the terms and conditions herein. Unpublished-rights reserved under the copyright laws of the United States. Adobe agrees to comply with all applicable equal opportunity laws including, if appropriate, the provisions of Executive Order 11246, as amended, Section 402 of the Vietnam Era Veterans Readjustment Assistance Act of 1974 (38 USC 4212), and Section 503 of the Rehabilitation Act of 1973, as amended, and the regulations at 41 CFR Parts 60-1 through 60-60, 60-250, and 60-741. The affirmative action clause and regulations contained in the preceding sentence shall be incorporated by reference.

# 目次

## 第 1 章：はじめに

|   |   |
|---|---|
| 必要システム構成 .....                                    | 1 |
| Adobe Connect Lotus Notes Add-in のインストールと開き ..... | 1 |

## 第 2 章：Adobe Connect Lotus Notes Add-in 使用ガイド

|                               |   |
|-------------------------------|---|
| Add-in のオプションへのアクセス .....     | 2 |
| ユーザーアカウントの設定と編集 .....         | 2 |
| Adobe Connect 会議室の情報の追加 ..... | 3 |
| Adobe Connect 会議の設定と管理 .....  | 5 |

# 第 1 章：はじめに

## 必要システム構成

Adobe® Connect™ 8 は、Lotus Notes 7 以降のほとんどのバージョンの Lotus Notes を Domino Server 上でサポートしています。必要システム構成については、[www.adobe.com/go/connect\\_sysreqs\\_jp](http://www.adobe.com/go/connect_sysreqs_jp) を参照してください。

## Adobe Connect Lotus Notes Add-in のインストールと開き

### Lotus Notes 8.5 以降

システム管理者が Connect を導入し、グループのどのメンバーがアドインをダウンロードして使用できるかを指定します。指定されたメンバーは、最初にメールデータベースを開いた時点でアドインをダウンロードするように求められます。アドインをダウンロードし、Lotus Notes を初めて起動した後、Adobe Connect の資格情報を入力するように求められます。これらの資格情報にはログイン、パスワード、およびサーバー URL が含まれます。資格情報が確認されると、サーバーから会議室リストが取得されます。証明情報が確認されない場合は、エラーメッセージの説明に従ってください。

### Lotus Notes 7

Connect 機能はメールテンプレートに組み込まれており、システム管理者が機能をパブリッシュおよびアクティブ化します。メールデータベースを初めて開くと、Adobe Connect アカウントのインストールと設定を促すメッセージが表示されます。

## 第 2 章：Adobe Connect Lotus Notes Add-in 使用ガイド


Lotus Notes Add-in を使用すると、Lotus Notes から送信されるカレンダー招待状や電子メールメッセージに、Adobe Connect の会議情報を追加することができます。Adobe Connect の会議を予約する際に、招待者を含む Lotus Notes の会議の要求を作成します。Lotus Notes によって、この会議がすべての参加者のカレンダーに追加され、リクエストを受け入れたすべての参加者に会議のアラームが提供されます。

Adobe Connect を使用すると、従業員、顧客、パートナー、投資家、サプライヤ、およびご使用のネットワークにアクセスできるその他の人との会議を予約できます。

Adobe Connect の詳細については、[www.adobe.com/go/connectpro\\_productinfo\\_jp](http://www.adobe.com/go/connectpro_productinfo_jp) を参照してください。

### Add-in のオプションへのアクセス

Adobe Connect Lotus Notes Add-in のオプションには、以下の場所からアクセスできます。

- Lotus Notes のアクションメニュー。
- Adobe Connect ツールバーの Add-in メニュー 。
- 電子メールメッセージやカレンダー招待状の Add-in メニュー。

### ユーザーアカウントの設定と編集

Adobe Connect Lotus Notes Add-in をインストールしてから初めて Lotus Notes の電子メールアプリケーションを起動すると、アカウントの設定を要求する画面が表示されます。アカウントを設定する際に、このアドインは Adobe Connect の既存の会議室の URL、ログイン、およびパスワードを確認します。アドインがこの情報を見つけられない場合には、ユーザーに設定を要求するメッセージが表示されます。

アカウント情報の編集は、登録時または設定の更新時のどちらかに実施してください。

現在の設定を変更するには編集ボタンを使用します。

ログイン名: name@company.com

パスワード: \*\*\*\*\*

サーバ: https://my.adobe.acrobat.com [編集]

デフォルトの会議室: My default meeting room [編集]

常に SSL を使用して接続する

[OK] [キャンセル]

アカウント情報を編集するためのダイアログボックスの設定

- 1 設定を更新する場合は、Add-in のメニューの「設定の変更」を選択します。
- 2 ログイン名とパスワード情報を入力します。
- 3 Adobe Connect サーバーと、デフォルトの会議室を選択します。初回ログイン時これらのフィールドはデフォルトでは空白になっています。
- 4 サーバーがセキュアサーバー（推奨）である場合、「常に SSL を使用して接続する」を選択します。このオプションが選択されている場合、URL は https から始まります。このオプションが選択されていない場合は、http から始まります。

**注意：**これらの設定はいつでも変更できます。詳しくは、5 ページの「[Adobe Connect 会議の設定と管理](#)」を参照してください。

## Adobe Connect 会議室の情報の追加

Lotus Notes で会議を作成する際に、Lotus Notes のアドレス帳またはグローバルアドレス帳を使用して、ユーザーを招待することができます。Lotus Notes を使用して、電子メールの会議招待状を送信し、近く開催予定の会議の参加者にアラームを送信することができます。

会議の電子メール招待状には、招待状の本文、Adobe Connect 会議室の URL、および音声会議の詳細（該当する場合）が記載されます。Lotus Notes Add-in はこの情報をカレンダー招待状と電子メールメッセージに付加します。会議セッションごとに会議室を作成する必要はなく、セッションごとに会議室を予約または更新する必要もありません。Adobe Connect の会議室と会議室の URL は永続的です。

**注意：**会議の主催者を除き、会議出席者はすべて、会議参加者として設定されます。会議の前に参加者をプレゼンターまたは主催者に変更するには、Adobe Connect でユーザーの役割を変更します（会議／参加者を編集）。詳しくは、「[Adobe Connect ヘルプ](#)」を参照してください。

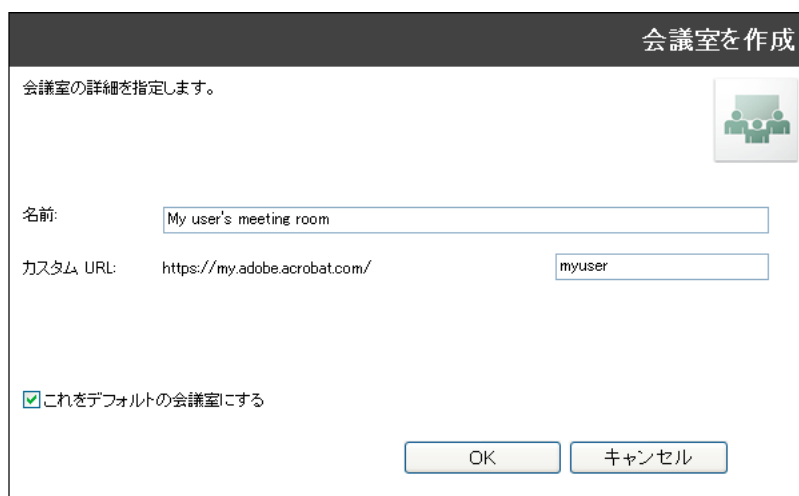
### 関連項目

7 ページの「[会議室の詳細のカスタマイズ](#)」

## 会議室の作成

Adobe Connect 会議のデフォルトの会議室、または臨時会議室として、新しい会議室を使用することができます。管理者が会議室の作成を制限していた場合、このオプションは使用できません。

- 1 Add-in のメニューで、「Adobe Connect 会議室の新規作成」を選択します。
- 2 会議室名、および URL のカスタム接尾辞、例えば名前や **会議計画** などを指定します。



会議室の作成

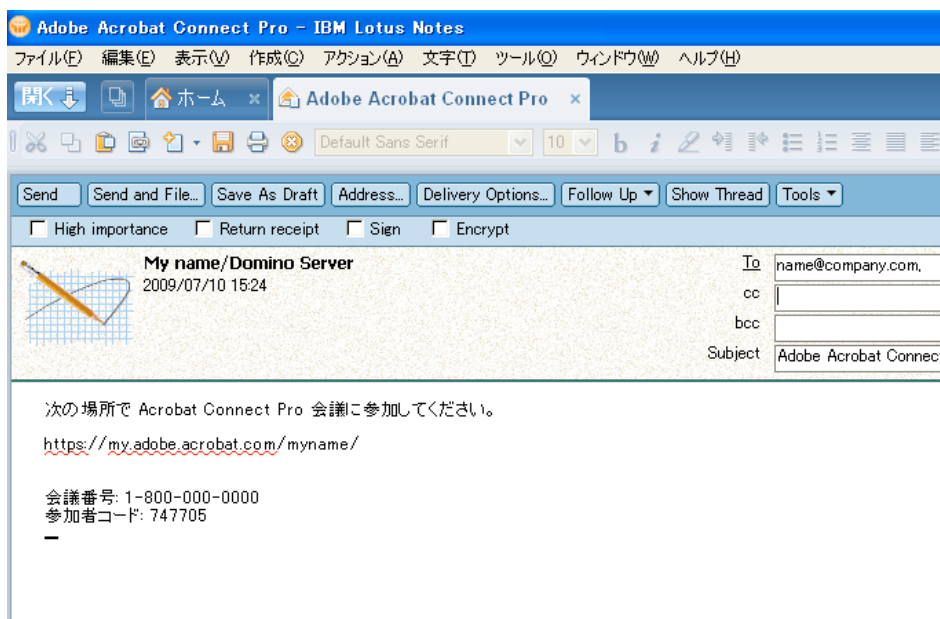
## 会議の招待状の送信

通常、会議の招待状は、カレンダーの上で定期的な会議や将来の会議をスケジュールし、参加者を設定することにより送信します。また、電子メールで招待状を送信することもできます。これは開催までの猶予期間が短い場合により適切です。カレンダーと電子メールのどちらの招待状にも、Adobe Connect 会議の詳細を記載する必要があります。この詳細には、会議室の URL、電話番号、参加用のコードなどが含まれます。

デフォルト会議室の設定が完了していることを確認します。6 ページの「[デフォルトの会議室の設定](#)」を参照してください。

## 電子メールによる招待状の送信

- 1 Add-in のメニューで、「Adobe Connect Meeting への招待を送信」を選択します。
- 2 電子メールメッセージで、参加者の電子メールアドレスを入力して、メッセージ本文に任意の情報を入力します。



Adobe Connect 会議の招待状

## カレンダーによる招待状の送信

❖ Add-in のメニューで、「Adobe Connect Meeting をスケジュール」を選択します。

カレンダーの招待状と会議室の情報が開きます。

## Adobe Connect 会議への参加

Adobe Connect 会議の招待状は電子メールで送信されます。招待状には、Adobe Connect 会議室の URL が記載されています。

1 招待状に記載された電子メールメッセージを開きます。

2 次のいずれかの操作を実行します。

- 会議が現在行われている場合は、招待状に記載された会議室の URL をクリックします。
- 会議が将来開催される予定の場合は、「承認する」をクリックします。会議が始まる時間になったら、Lotus Notes カレンダーでアイテムを開き、会議室の URL をクリックします。

💡 定期的な会議の場合は、簡単にアクセスできるように会議室の URL をブラウザでブックマークすることができます。

## Adobe Connect 会議の設定と管理

会議の設定と管理は設定ダイアログボックス（Add-in のメニュー／設定の変更）で行います。

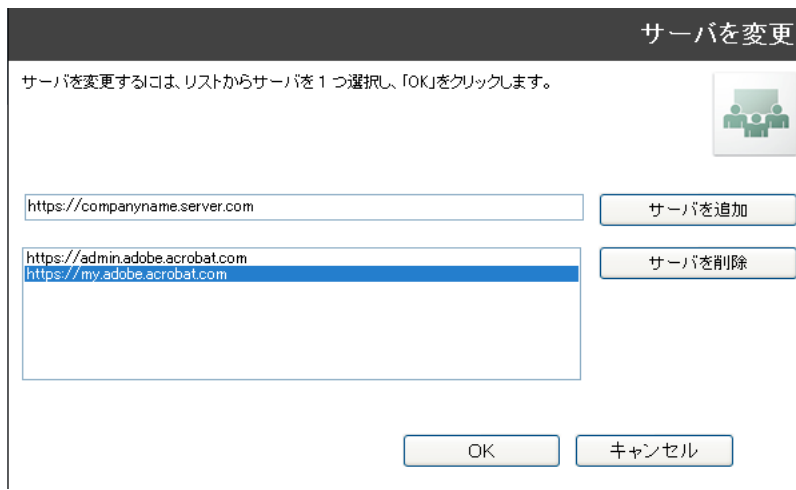
### サーバー情報の変更

管理者がアドイン用のサーバーを 1 つ指定していた場合、このオプションは使用できません。

1 Add-in のメニューで、「設定の変更」を選択します。



- 2 サーバー名を選択し、「編集」をクリックします。



Adobe Connect サーバーのオプション

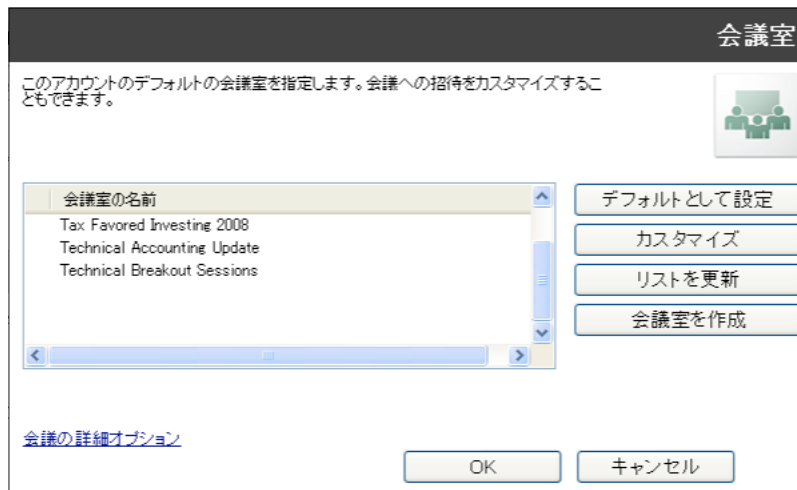
- 3 サーバーの変更ダイアログボックスで、次のいずれかのタスクを実行します。
  - 既存のサーバーを使用するには、サーバーを選択して「OK」をクリックします。このサーバーは、設定ダイアログボックスの「サーバー」テキストボックスに表示されます。
  - (利用可能な場合) 新しいサーバーを追加するには、テキストボックスに FQDN (完全修飾のドメイン名) を入力し、「サーバーの追加」をクリックします。絶対ドメイン名とも呼ばれる **FQDN** は、Adobe Connect サーバーアプリケーションをホストしているサーバーの完全なドメイン名です。このサーバーは、利用可能なサーバーのリストに表示されます。
  - サーバーを削除するには、削除するサーバーを選択して「サーバーの削除」をクリックします。

## デフォルトの会議室の設定

デフォルトの会議室を変更する前に、設定ダイアログボックスで Adobe Connect サーバーが定義されていることを確認します。サーバーは、ユーザーアカウントに関連付けられた会議室のリストを取得します。

- 1 Add-in のメニューで、「設定の変更」を選択します。
- 2 サーバー名を選択し、「編集」をクリックします。
- 3 マイミーティングルームダイアログボックスで、リストから会議室を選択し、「デフォルトとして設定」をクリックします。

**注意:** Lotus 8.5 以降では、山括弧 (>>) は現在のデフォルト会議室を表します。



デフォルトの会議室の設定

**注意：**新しい会議の作成時に、新しい会議をデフォルトとして指定することもできます。

- 4 追加の会議情報を設定するには、「会議の詳細オプション」をクリックします。このオプションによって Adobe Connect で会議のリストが開き、会議を選択したり会議情報を変更することができます。詳しくは、「Adobe Connect ヘルプ」を参照してください。

#### 関連項目

4 ページの「[会議室の作成](#)」


## 会議室の詳細のカスタマイズ

Adobe Connect の会議室はすべて事前に定義されたテンプレートを使用します。テンプレートでは、会議室の URL や音声会議の詳細（該当する場合）などに関する設定が利用できます。任意の会議室について、事前に定義された設定を使用するか、事前に定義された設定をカスタマイズすることができます。例えば、音声会議プロバイダーに対応したアカウント情報を追加して、会議を予約する際に必要なすべての情報を揃えることができます。招待状で複数の会議室に対して異なるカスタマイズ設定ができます。

- 1 マイミーティングルームダイアログボックスで会議室を選択して、「カスタマイズ」をクリックします。

### 招待をカスタマイズ

選択した会議室の招待の詳細を指定します。必要に応じて、「電話の設定」をクリックしてオーディオ会議の詳細を追加します。



会議室の名前: My user's meeting room

招待テキスト: 次の場所で Acrobat Connect Pro 会議に参加してください。 招待テキストをリセット

テレフォニー: 会議番号: 1-800-000-0000  
参加者コード: 43216 電話の設定

OK キャンセル

会議の招待状のカスタマイズ

**2** 次のいずれかの操作を実行します。

- 招待状の詳細を追加するには、テキストを入力し、Adobe Connect 会議室の URL を追加します。
- 音声会議（テレフォニー）の詳細を追加するには、「電話の設定」をクリックします。このオプションは、Adobe Connect サーバーから取得したテレフォニー情報を、テキストボックスの現在のエントリの後に追加します。

## 会議室のリストの更新

特定のサーバー上のユーザーアカウントに関連付けられている会議室を同期することができます。会議室は、Adobe Connect サーバー上、およびオフライン作業用にローカルコンピューター上に維持されます。アカウント管理者は、ローカルの会議室リストとそのサーバー上の会議室を同期することができます。

- ❖ マイミーティングルームダイアログボックスで、「リストの更新」をクリックします。

現在割り当てられているデフォルトの会議室がサーバー上に存在する場合、その会議室はデフォルトのまま変更されません。それ以外の場合、リストの最上位の会議室が自動的にデフォルトとして選択されます。新しいデフォルトの会議室をリストから選択するか、新しい会議室を作成してデフォルトとして設定します。